

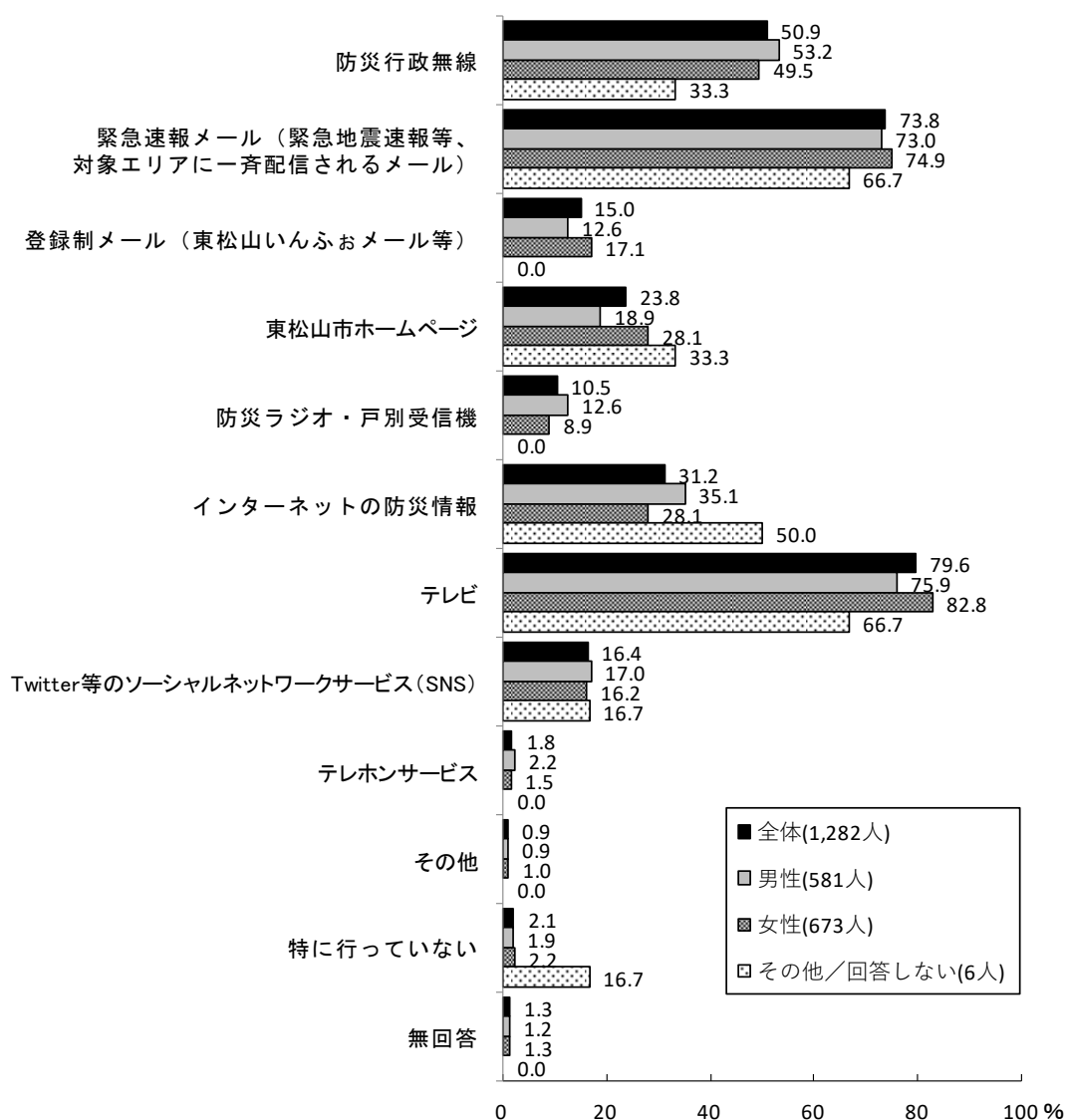
## 4 防災について

### 4-1 防災情報の取得方法

◆「テレビ」79.6%、「緊急速報メール」73.8%◆

問 12 あなたは、災害時の防災情報（避難情報）をどのように取得していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

防災情報の取得方法（全体・性別）

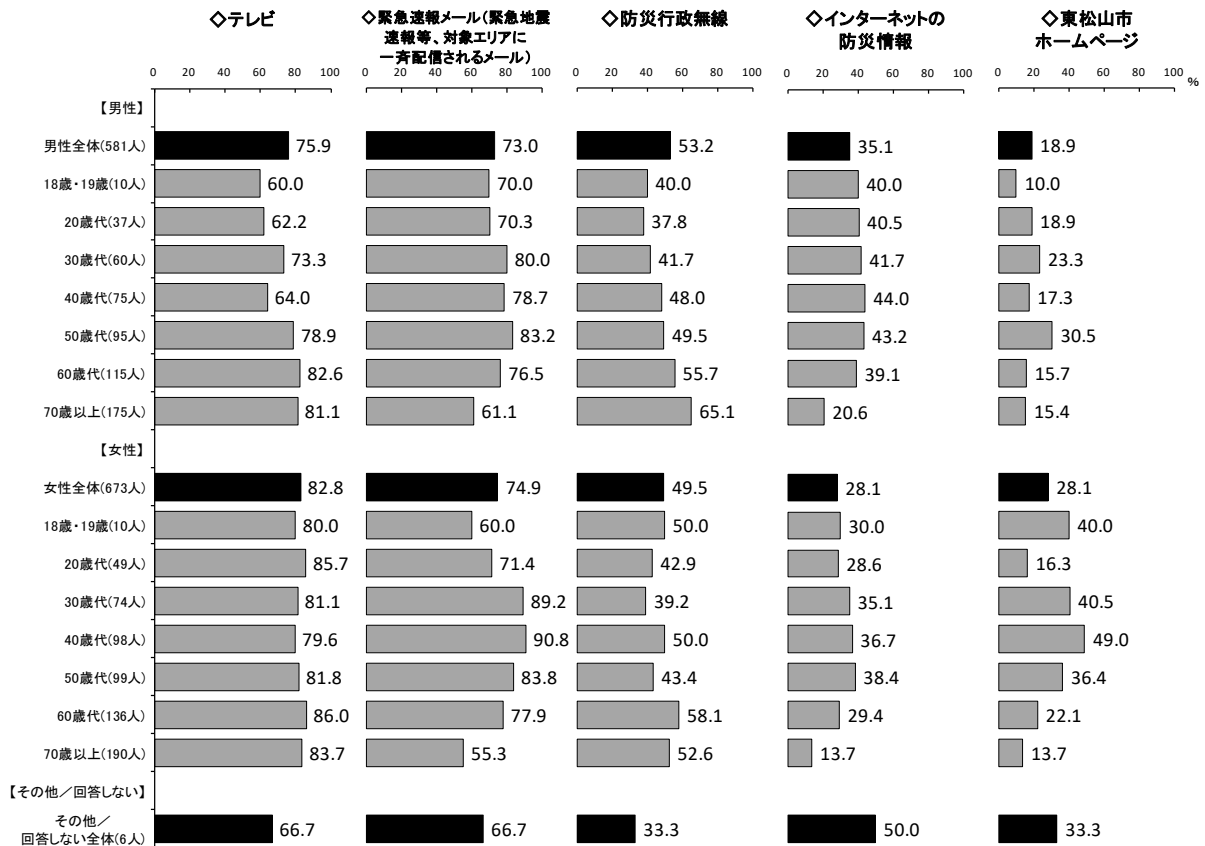


※「防災情報の取得方法」は新設の設問です。

全体では「テレビ」が79.6%で最も高く、次いで「緊急速報メール」（73.8%）、「防災行政無線」（50.9%）、「インターネットの防災情報」（31.2%）、「東松山市ホームページ」（23.8%）と続いています。

性別でみると「東松山市ホームページ」は女性（28.1%）が男性（18.9%）を9.2ポイント、「テレビ」は女性（82.8%）が男性（75.9%）を6.9ポイント上回っています。一方「インターネットの防災情報」は男性（35.1%）が女性（28.1%）を7.0ポイント上回っています。

## 防災情報の取得方法（上位5位 性・年代別）



性・年代別で見ると「テレビ」は男性・女性ともにほとんどの年代で7～8割台となっていますが、男性の18歳・19歳、20歳代、40歳代では6割台と低くなっています。

「緊急速報メール」は女性の30歳代(89.2%)、40歳代(90.8%)、50歳代(83.8%)で高くなっています。一方、男性・女性ともに70歳以上で5割台半ば～6割と低くなっています。

「防災行政無線」は男性では年齢が高くなるほど割合が高くなり、70歳以上で65.1%と最も高くなっています。女性では60歳代で58.1%と最も高くなっています。

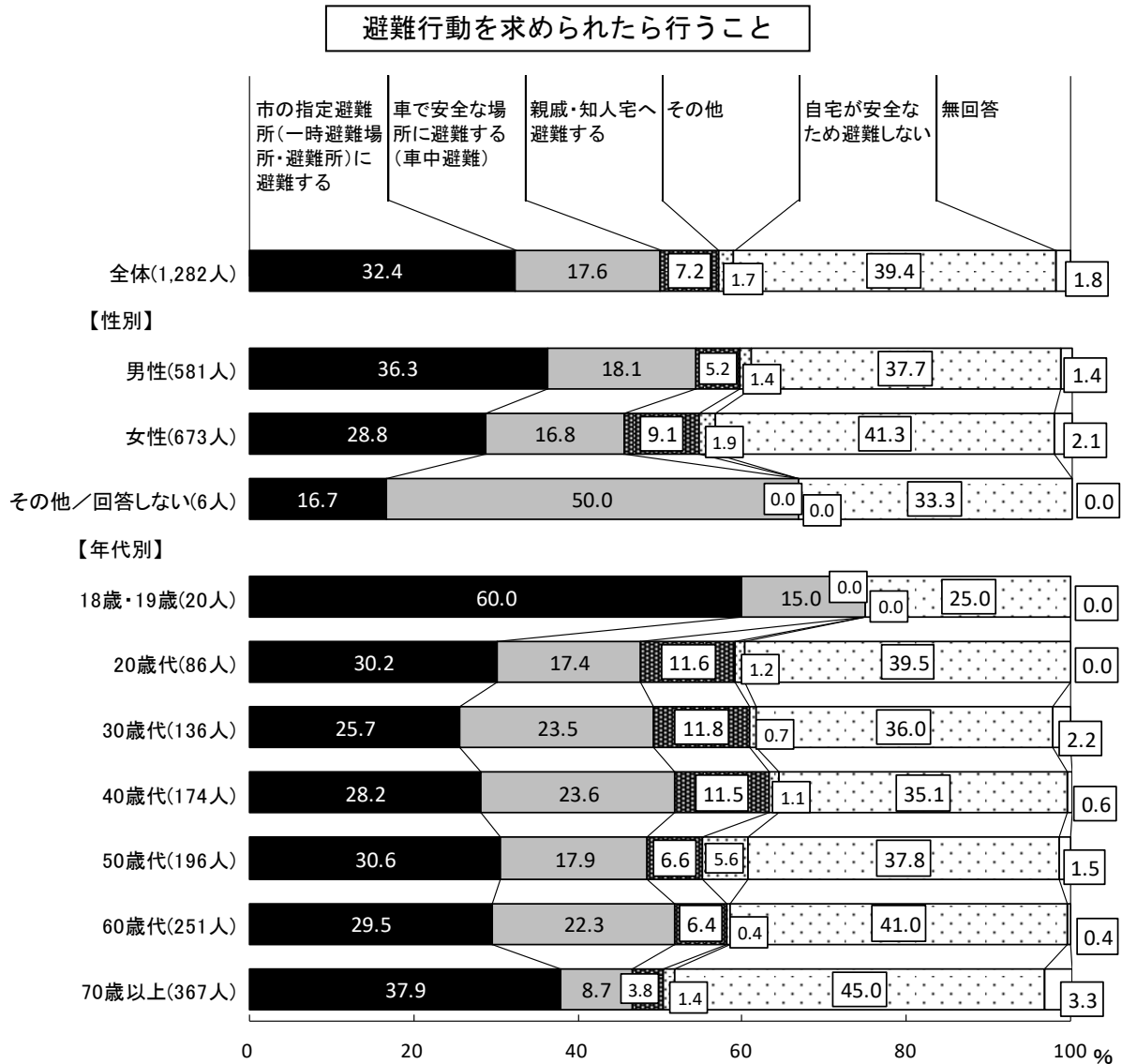
「インターネットの防災情報」は男性・女性ともに70歳以上の割合が低く、男性が20.6%、女性が13.7%となっています。

「東松山市ホームページ」は男性では50歳代(30.5%)、女性では40歳代(49.0%)が最も高くなっています。

## 4-2 避難行動を求められたら行うこと

- ◆「自宅が安全なため避難しない」39.4%、「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」32.4%◆

問 13 あなたは、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「避難行動を求められたら行うこと」は新設の設問です。

全体では「自宅が安全なため避難しない」が39.4%で最も高く、次いで「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」（32.4%）、「車で安全な場所に避難する（車中避難）」（17.6%）、「親戚・知人宅へ避難する」（7.2%）と続いています。

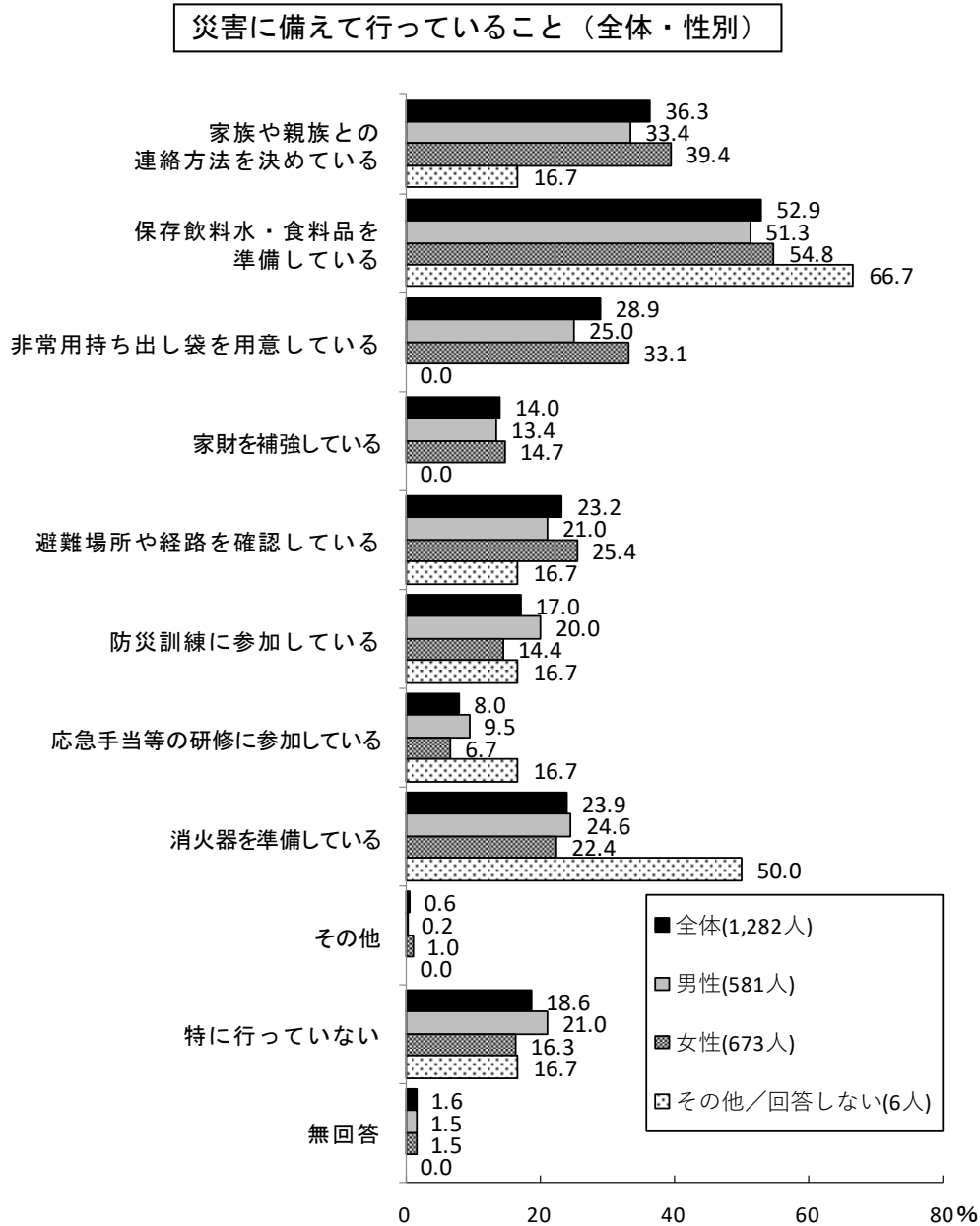
性別でみると「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」で男性（36.3%）が女性（28.8%）を7.5ポイント上回っています。

年代別でみると「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」は18歳・19歳で60.0%と他の年代に比べ高くなっています。

### 4-3 災害に備えて行っていること

◆「保存飲料水・食料品を準備している」52.9%、「家族や親族との連絡方法を決めている」36.3%◆

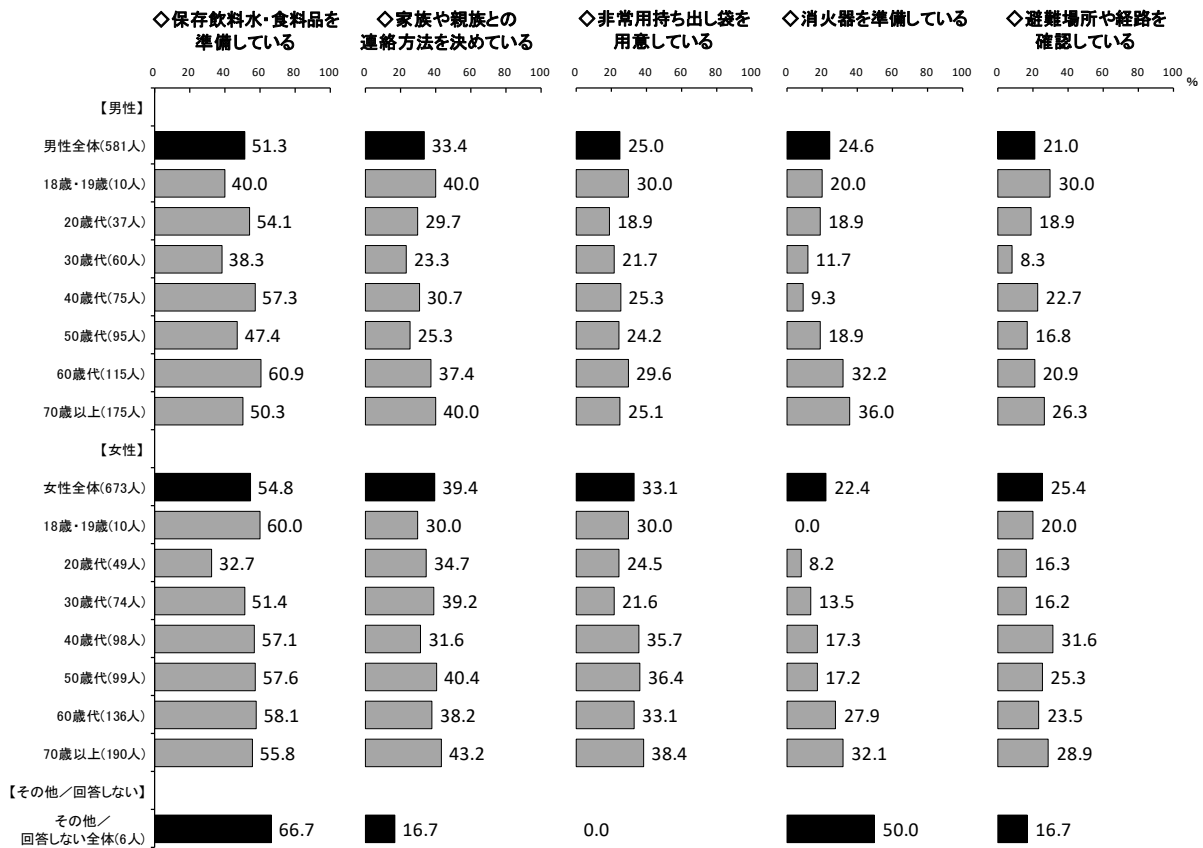
問 14 あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「保存飲料水・食料品を準備している」が52.9%で最も高く、次いで「家族や親族との連絡方法を決めている」(36.3%)、「非常用持ち出し袋を用意している」(28.9%)、「消火器を準備している」(23.9%)、「避難場所や経路を確認している」(23.2%)と続いています。

性別で見ると「家族や親族との連絡方法を決めている」で女性(39.4%)が男性(33.4%)を6.0ポイント、「非常用持ち出し袋を用意している」で女性(33.1%)が男性(25.0%)を8.1ポイント上回っています。一方「防災訓練に参加している」で男性(20.0%)が女性(14.4%)を5.6ポイント上回っています。

## 災害に備えて行っていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「保存飲料水・食料品を準備している」は男性の60歳代、女性の18歳・19歳で6割以上となっています。

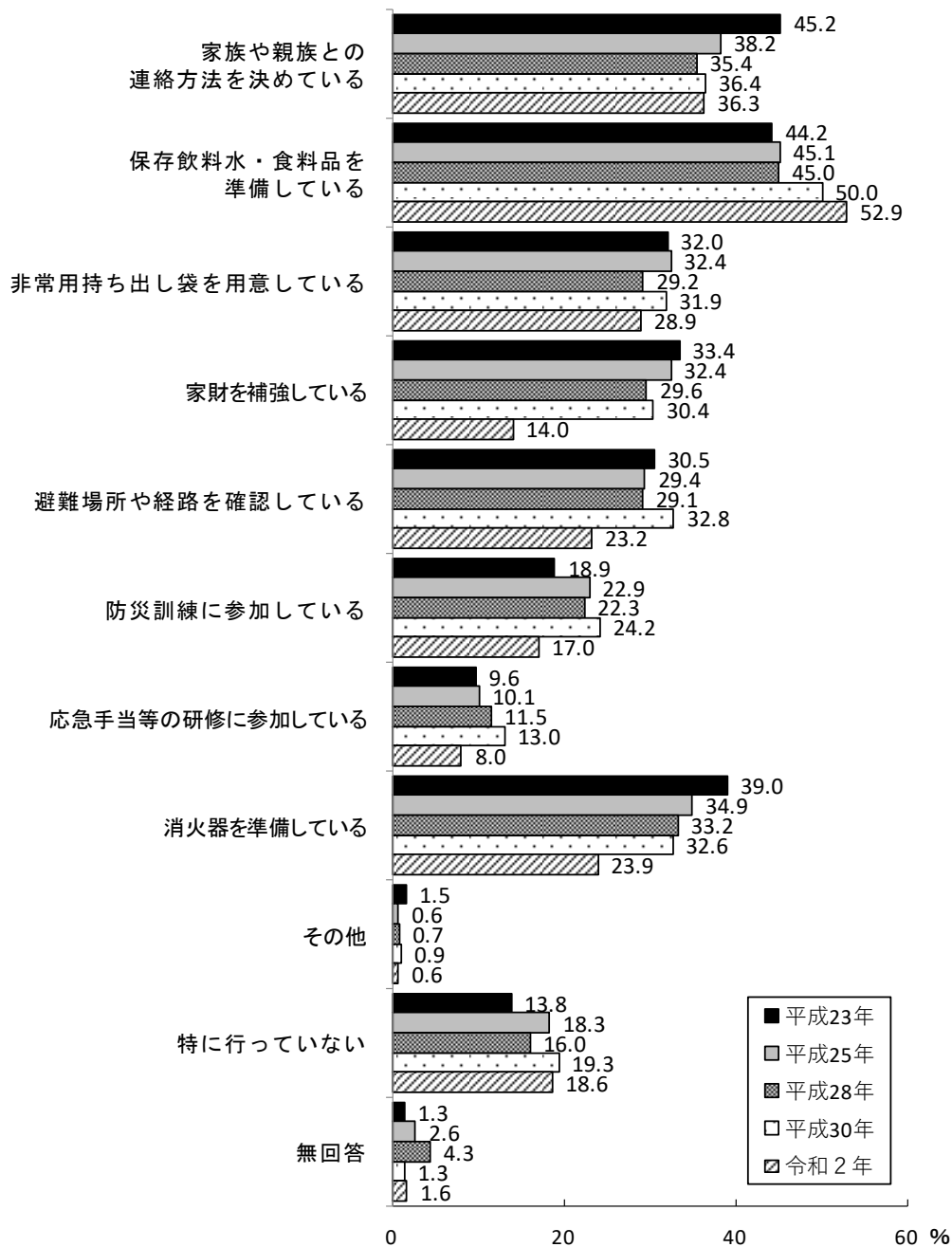
「家族や親族との連絡方法を決めている」は男性の18歳・19歳、70歳以上、女性の50歳代、70歳以上で4割以上となっています。

「非常用持ち出し袋を用意している」は男性では18歳・19歳(30.0%)、60歳代(29.6%)、女性では70歳以上(38.4%)が高くなっています。

「消火器を準備している」は男性の60歳代以降で3割台と高くなっています。女性では年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、70歳以上では32.1%と最も高くなっています。

「避難場所や経路を確認している」は男性の18歳・19歳(30.0%)、女性の40歳代(31.6%)が3割以上と高くなっています。

災害に備えて行っていること（経年比較）



平成30年度調査と比較するとほとんど全ての項目で減少傾向にあり、特に「家財を補強している」が16.4ポイント減と大幅に減少しています。また「避難場所や経路を確認している」「防災訓練に参加している」「応急手当等の研修に参加している」「消火器を準備している」では5ポイント以上減少しています。一方、「保存飲料水・食料品を準備している」が2.9ポイント増加しています。

平成23年度調査以降、「保存飲料水・食料品を準備している」が増加傾向、「消火器を準備している」は減少傾向にあります。